



アマチュアオーケストラ

# 新交響楽団第224回演奏会

The New Symphony Orchestra—224th Concert

## [伊福部昭 生誕 100年記念]

Ifukube Akira Centennial Memorial Concert

指揮：湯浅 卓雄

YUASA Takuo, conductor

黛 敏郎：ルンバ・ラブソディ

MAYUZUMI Toshiro (1929-1997): Rumba Rhapsody, 1948

芥川 也寸志：エローラ交響曲

AKUTAGAWA Yasushi (1925-1989): Ellora Symphony, 1958

松村 禎三：ゲッセマネの夜に

MATSUMURA Teizo (1929-2007): To the Night of Gethsemane, 2002

伊福部 昭：オーケストラとマリムバのための「ラウダ・コンチェルタータ」

IFUKUBE Akira (1914-2006): Lauda Concertata per Orchestra e Marimba, 1976

マリンバ独奏：安倍 圭子

ABE Keiko, Marimba Solo

助成：公益財団法人三菱 UFJ 信託地域文化財団

2014年1月19日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演 (13:00 開場)

14:00, Sunday, January 19, 2014, at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall (Ikebukuro Station, West Exit)

入場料 S席：¥3,000 A席：¥2,500 B席：¥1,500 (全席指定)

88ペアチケット (お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引いたします。下記コンサートイメージのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ：コンサートイメージ03(3235)3777 (10:00～18:00 日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み：チケットぴあ：0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス：0570(010)296 (10:00～19:00 休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki/i/t/> 0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

\*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますので、お申し付けください。

\*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスがございます(予約制)。詳細は裏面をご覧ください。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

Design: IMAO Keisuke

## 伊福部昭生誕100年

2014年は日本を代表する作曲家である伊福部昭が生まれて100年目にあたります。魅力的な作品の数々は民族的でありながらグローバル、また「ゴジラ」など多くの映画音楽でも活躍をしました。新交響楽団は今までも伊福部作品を大切に取上げてきましたが、今回の演奏会では、彼の門下生である黛敏郎、芥川也寸志、松村禎三の作品とともに演奏します。

指揮には湯浅卓雄を迎えます。湯浅は高校卒業後にアメリカ留学を経てウィーン国立音楽大学で指揮を学び、イギリスを中心に国際的に活躍し、現在は東京藝術大学演奏藝術センターの教授を務めています。世界最大のクラシック音楽レーベルとなったナクソスで多くの録音を残していますが、特に「日本作曲家選輯」シリーズにおいて日本人作品を紹介し、曲に新たな生命を吹き込み鮮やかに聴かせてくれます。

### 偉大な作曲家と弟子たち

伊福部は1914年（大正3年）釧路生まれ。中学2年の時に独学で作曲を始めますが、北海道帝国大学（現在の北海道大学）農学部に進み卒業後は道庁の林務官となりますが作曲を続け、チェレブニン賞（フランスで開催された日本人作品のコンクール）で1位となります。第二次大戦後、知人から映画音楽の誘いがあり日光に転居、東京音楽学校（現在の東京藝術大学）の作曲科講師となりました。その最初の教え子に黛、芥川がいました。この2人はその後作曲以外にも多方面で活躍したのは万人の知るところです。

松村禎三は旧制第三高等学校（現在の京都大学）を卒業後に東京藝術大学を目指しますが、試験時の身体検査で結核に冒されていることがわかり長期の療養を余儀なくされます。その快復期に書いた作品が毎日音楽コンクール第1位となり、その時に声をかけられた伊福部に師事をするようになりました。

伊福部は、その後東京音楽大学で作曲科教授、学長を務めるなど、多くの弟子たちを輩出しました。

### ベルリンの感動をふたたび

新響は1993年にベルリン芸術週間に招聘されましたが、その時演奏したのが伊福部「ラウダ・コンチェルタータ」でした。協奏曲風の頌歌（神をたたえる歌）という意味で、自然と人間が対話し昂揚していきます。独奏マリンバには、ベルリン公演と同じ安倍圭子を迎えます。安倍は世界的に活躍するマリンバ奏者で、76歳にして現役の演奏家として日本のマリンバ界をリードしています。「ラウダ」は元々木琴協奏曲として書かれたが演奏されず、安倍のマリンバを想定して書き直されました。安倍により初演され十八番となっています。

芥川「エローラ交響曲」もまた新響にとって大切な曲の一つです。インドのエローラ石窟寺院に衝撃を受けて書かれたこの曲は、神秘的で躍動感のある名曲です。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

## 今後の演奏会予定

### <第225回演奏会>

2014年4月6日（日）14時 東京芸術劇場

指揮 曾我大介 ヴァイオリン 大谷康子

曲目 サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番  
リムスキー＝コルサコフ／シェヘラザード

### <第226回演奏会>

2014年7月6日（日）14時 東京芸術劇場

指揮 飯守泰次郎

## 新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展（1976年にサントリー音楽賞を受賞）、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ（故山田一雄指揮、1979～90）、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏（故石井眞木指揮、1993）、伊福部昭米寿記念演奏会（2002）、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演（高関健指揮、2004）、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演（飯守泰次郎指揮、2006）など、幅広い活動を積極的に展開しています。

### 維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券（どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能）を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」

### 団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail：shinky@music.nifty.jp  
練習は毎週土曜日午後6時～9時、東京芸術劇場（池袋）、クラシック・スペース☆100（大久保）他にて。

### 演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、キッズルームをご利用いただけます。ご利用時間は開演1時間前から終演後30分まで、ご利用料金は～1歳児2,000円、2～6歳児1,000円です。1週間前までにお申込みください。お申込み、お問い合わせ：東京芸術劇場キッズルームミュージズ 電話 03-3981-7003